

新 高梁人名録



あかまつ げっせん
赤松 月船
(1897-1997)

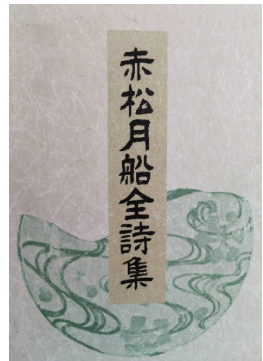
野をゆき 一日たのしくて
仔牛をつれし 親牛の
ひとみしたしく 見守りぬ
詩集「平川」(1936年)より

月船は、岡山県鴨方村(現在の浅口市)に生まれ、幼少で仏門(曹洞宗)に入りました。僧侶として永平寺で厳しい修行を行う傍ら、「詩」を中心とした文学にも才を発揮しました。一時(1918~1936)宗門を離れ、東京で詩人として活動しました。月船にとつて、東京でのこの18年間は詩人としての活躍はもとより、詩・文学界で多くの友人(室生犀星、井伏鱒二など)と深く交流し、詩壇

での地位を不動のものとしていきます。1936年に、宗門の強い要請で仏門に復帰することになり、平川村(現在の備中町平川)の観音寺住職となります。地域では詩のサークルを作り、村民に詩を作る楽しさを伝えました。

僧侶として多忙な中でも積極的に詩作を続けていきました。「どんな田舎に住んでいようと中央詩壇とは郵便でやりとりできる」が持論でした。日本野鳥の会の創設者である中西悟堂は、月船を評して「純粹の人、反骨の人」と言われています。戦後は、備中町教育委員長にも就任し、教育行政に

手腕を振るいました。戦後の教育のシンボルとして平川小学校にペスタロッツチ像(作:宮本隆・田辺虎二郎)を建立しました。



赤松月船全詩集(資料提供 吉備路文学館)



ペスタロッツチ
18世紀後半のスイスの教育者。子どもを大切にすることを教育者。人物写真提供 並木平夫氏

今号の表紙

高梁市立川上こども園

川上こども園は、「ふるさとに親しみ、心身ともに健康で豊かな心をもつ子どもを育てる」「元氣な子」「自分や友達を大切にする子」「ふるさとに親しむ子」を園目標に掲げ、子どもたち一人一人の「やってみたい」という気持ちを大切にしながら自分で考え行動する力を育てています。



あとかき
今号では3月定例会の予算審議を中心に、私たちの暮らしに直結する重要な施策についてお伝えしています。委員会では2月に議会広報の編集に関して先進自治体を視察しました。今号より審議内容の紙面変更を行いました。また、難しい議会用語をできるだけ平易な言葉に書き換えるなど分かりやすい紙面づくりに努めました。いかがだったでしょうか。皆様の「声」を聞かせただけであれば幸いです。(川上博司)

6月の定例会スケジュール

6/12	金	本会議 (議案の上程)
18	木	本会議 (一般質問)
19	金	本会議 (一般質問)
22	月	本会議 (一般質問)
24	水	本会議 (議案質疑)
25	木	委員会
26	金	委員会
29	月	(委員会予備日)
7/2	木	本会議 (採決)

※6月定例会への請願・陳情の締め切りは6月4日(木)です。
※日程は変更となる場合があります。
正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

政治家の寄付は禁止! 有権者が求めることも 禁止されています!

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。

編集

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	委員長	議長
長田	川上	前野	藤岡	宮田	川上	金尾	森	和之	博司
伸彦	雅美	洋行	善行	好夫	博司	恭士	和之		

議会広報公聴特別委員会



高梁市議会ホームページ
◀アクセスはこちらから

